

## 第3学年 図画工作科学学習指導案

に組 男子17名 女子17名 計34名

指導者 濱崎 昇平

### 1 題材 光を通して～わたしたちのカラフルなせかい～

#### 2 題材について

##### (1) 題材の位置とねらい

本題材は、広い透明シートに色セロハンを貼り、光を通して見付けた形や色、場所の特徴を基にイメージをもち、新たに形や色を工夫した色セロハンを貼って表現する造形遊びの題材である。

この期の子どもたちは、手や体全体を働かせながら、広い場所や狭い場所を利用し、様々な材料を組み合わせて表現しようとする意欲が高まっている。また、組み合わせさせてできた形や色から自分なりに想像を膨らませたことを基に多様な表現を試みたり、友達と交流して気付いたことを表現に生かしたりする喜びや楽しさを味わってきている。

そこで、「光を通してカラフルな世界を友達とつくりよう。」というテーマの下、広い透明シートに形や色を工夫した色セロハンを貼る活動は、体全体を働かせながら、光を生かした形や色の工夫をすることができるので、進んで材料や場所に働きかけたり、自分なりにイメージした世界を表現しようとしたりする意欲を高めることができる。また、**材料や場所を組み合わせさせてできた面白い形や色、自分のイメージを基に、色セロハンのよさや場所の特徴を生かして、新しい形や色を表現することができるので、つくりだす力を伸ばすことができる。**そして、透過性を生かした材料の組合せから形や色の面白さに気付いたり、自分や友達の発想を交流したりすることで自分の表現に生かすことができるので、感じ取る力を伸ばすことができる。さらに、自分がイメージした世界を表現できるように、材料や用具を適切に用いながら、知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、材料や場所の特徴を生かして体全体を使って表現していく活動は、第4学年の「つくりようあそぼうゆめの森」で、イメージしたことを基に、場所や様々な材料の特徴を生かし全身を使って表現する活動へと発展していく。

##### (2) 指導の基本的な立場

本題材では主として色セロハンを取り扱う。色セロハンは、色が数種類ある上に透過性があるため光を生かした表現がしやすく、重ねて貼ることで、様々な色の組合せを楽しみながら活動することができる。また、はさみで容易に切ることができ、自分のイメージに合わせて表現することができる。このような特徴を生かすことで、光を通した形や色の工夫をしながら表現したいという意欲をもたせることができる。

具体的には、まず、広い透明シートに色セロハンを貼ることに興味をもたせるために、教師が実際に様々な形や色の色セロハンを組み合わせさせて貼ってみせ、できた形や色の面白さやイメージしたことを友達と交流する場を設定する。そして、気付いたことを基に形や色、場所の特徴といった造形要素を見いださ、自分はどのように貼ってみたいかを考えさせ、表現の見通しをもたせる。

次に、場所の特徴を生かしながら表現することができるようにするために、広い透明シートを様々な場所に設定し、場所の特徴を生かして表現している子どもを価値付ける。さらに、**色セロハンや場所の特徴を自分の表現に生かすよさに気付かせるために、形や色、場所の特徴といった造形要素を基に、自分や友達の表現を遠くや近くから鑑賞させ、気付いたことを交流させる。**

最後に、透明シート全体に貼られた表現を鑑賞する活動を通して、材料や場所の特徴を生かした発想の工夫を認め合えるようにする。

このような学習を通して、子どもたちは場所や材料の特徴を生かしながら、自分の思いやイメージに合わせて形や色を工夫し、新たなイメージをつくりだすことができた喜びを感じることができると考える。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、これまでの経験から26名の子どもたちが、色セロハンを使って遊んだり、イメージしたものを作ったりしたことがない。(※1) また、色セロハンの特徴について、光を通

<p><u>実態調査 3年に組34名 (4月中旬実施)</u></p> <p>1 色セロハンで何か作るとは好きですか。 好き(7名) 好きではない(1名) 作った経験がない(26名) ※1</p> <p>2 色セロハンにはどのような特徴がありますか。 ・つるつるしている(3名) ・色が重なる(2名) ・透明で光を通す(12名) ・わからない(17名) ※2</p> <p>3 色セロハンを組み合わせた作品を見てどのような世界をつくりたいかイメージすることができますか。 できる(28名) できない(6名) ※3</p> <p>4 透明シートを貼った場所から、色セロハンを使ってどのような世界にしたいか思いつきますか。 思いつく(25名) 思いつかない(9名) ※3 〈思いついた世界〉 ・カラフルなトンネル ・ジャングルの世界 など</p> <p>5 友達の作品を見ることは好きですか。 好き(30名) 好きではない(3名) ※4</p> <p>6 切った色セロハンを適切にセロハンテープで張り付けることができますか。(実技) できる(30名) できない(4名) ※5</p> <p>7 色セロハンを貼る活動をどのように楽しむか。(実技) ※6 貼る行為自体を楽しむ(5名) イメージしたものを基に貼って楽しむ(29名)</p>	<p>すことができる、色が数種類あり、色が重ねられるといった回答が少なかった。(※2) 理由として、色セロハンに触れ、特徴に気付く経験が少ないことが考えられる。そこで、色セロハンの特徴に気付けるような場の設定や発問の工夫を行ったり、活動の中で色セロハンの特徴に気付いた子どもや特徴を生かして表現している子どもを積極的に価値付けや紹介をしたりする必要がある。</p> <p>貼ってある色セロハンや様々な場所を基に、表現したい世界のイメージをもつことができない子どもが数名いた。(※3) 理由として、材料や場所から発想する経験が少なかったり、どのように発想してよいか分からなかったりすることが考えられる。活動する場を広い場所だけでなく、狭い場所にも設定し、様々な発想をさせやすくする。また、材料の形や色や、場所の特徴などの観点から発想させたり、発想することができた子どもを</p>
---	--

価値付け、全体で紹介したりする必要がある。

友達の作品を鑑賞することについて、3名の子どもが好きではないと答えている(※4) 理由として、**鑑賞したことを自分の表現に生かすよさを実感していないからではないかと考える**。そこで、意図的に自分や友達の表現を鑑賞するように促し、気付いたことを交流する活動を設定し、鑑賞を通して感じた友達の工夫を自分の表現に生かすように促す発問を行う。そして、鑑賞したことを自分の表現に生かしたことを価値付ける。

切った色セロハンを思いやイメージに合わせて適切に貼ることについて、4名の子どもができなかった。適切な貼り方を実際に見せたり、資料を掲示したりして、イメージに合わせて貼ることができるようにする必要がある。色セロハンを貼る活動について、5名の子どもが行為自体を楽しみ、29名の子どもがイメージを基に作品を作って楽しんでいた。(※6) 行為志向型や作品志向型、二つの型を行き来する中間型、それぞれに応じた発問や価値付けを行う必要がある。

### (4) 指導上の留意点

ア 「思いをもつ・見通す」段階では、**教師が色セロハンを貼る活動を見せる際に、工夫してある表現と工夫していない表現を比較させ、気付いたことを交流させ、形や色、場所の特徴といった造形要素を見いださせる。**






イ 「思いを表現する」段階では、行為自体を楽しんでいる子どもや作品をつくっている子どもにはなど、できた形や色を価値付け、作品をつくって楽しんでいる子どもには、思いやイメージに合わせてできた形や色の工夫を価値付けるなど、個に応じた発問を行い次の活動の見通しをもたせる。また、**近くや遠くで見たり、狭い場所に入って見たりしながら鑑賞するように促し、自分や友達の表現を形や色、場所の特徴を観点に比較させ、表したいイメージに関係付けながら表現の見通しをもてるような発問を行う。**

ウ 「思いを味わう」段階では、色セロハンや場所の特徴を生かした表現のよさを実感できるように、自分や友達の表現のよさを紹介し合いながら振り返り、価値付ける場を設定する。

### 3 目 標

- (1) 透明シートに色セロハンを貼る活動に興味をもち、体全体を使って、表現方法を工夫しながら友達と進んで活動することができる。
- (2) ○ 光の効果を生かして色セロハンの組み合わせを工夫したり、色セロハンや場所の特徴を生かしながら自分の思いやイメージに合わせて形や色を工夫したりして表現することができる。  
○ 色セロハンや場所の特徴を生かした表現の工夫に気づき、自分の表現に生かそうとすることができる。
- (3) 色セロハンをはさみで切ったり、セロハンテープで貼ったりしながら思いやイメージに合わせて表現することができる。

### 4 指導計画（全2時間）

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 透明シートに色セロハンを貼って遊ぶことについて話し合う。 色セロハンは光を通すときれいだな。色の重なりもあるんだ。 	1 (本時 1/2)	○ 透明シートに色セロハンを貼る活動に意欲をもたせるために、実際に教師が透明シートに色セロハンを貼る様子を見せたり、様々な場を紹介したりし、「自分だったらどこにどのように色セロハンを貼りたいかな。」と問い、活動の見通しをもたせる。 ○ 貼った色セロハンを基に、色セロハンや場所の特徴を生かして表現する楽しさに気付かせるために、教師が貼った色セロハンを基に、気付いたことや、さらに工夫したいことを発表させ、題材のめあてへと焦点化する。 ○ 色セロハンや場所の特徴を生かすよさに気付かせるために、形や色を工夫した表現と工夫していない表現を比較させたり、場所の特徴を生かした表現を鑑賞させたりし、造形要素を見いださせ、自分の表現に生かすようにさせる。 ○ 自分の表現したい思いやイメージに合わせて色セロハンを選択したり、切ったりすることができるように、数色の色セロハンやはさみを設置する作業台を用意したり、個人用のセロハンテープを持たせたりする。 ○ 色セロハンや場所の特徴を生かした表現のよさに気づき、気付いたことを自分の表現に生かせるようにするために、自分や友達の表現を、近くや遠くに行ったり、中に入ったりしながら鑑賞するように促す。その際、友達と比べて気付いたことを自分のイメージに生かそうとする姿を価値付け、近くの小集団や全体で共有する場を設定する。 ○ 色セロハンや場所の特徴、自分や友達の表現の工夫のよさを味わわせるために、自分や友達が貼った場所に行き、教室中を鑑賞して回る場を設定する。その際、「どうしてこのようなカラフルで楽しい教室になったのかな。」と発問し、活動を振り返らせ、材料や場所の特徴を生かして形や色などを工夫したことを価値付け、今後の表現に生かすようにさせる。
	2 学習のめあてについて話し合う。 透明シートに色セロハンをはって教室をカラフルで楽しい場所にしよう。		
思いを表現する	3 透明シートに色セロハンをはって遊ぶ。 (1) 場所の特徴を生かして、色セロハンを貼って遊ぶ。 黄色い色セロハンを貼って明るいトンネルにしようかな。 	1 (本時 1/2)	
	(2) 活動しながら友達や自分の工夫、色セロハンや場所の特徴に気付く。 友達は色セロハンを何色か重ねて貼っていて、空に虹が出ているみたいだな。 		
思いを味わう	(3) 気付いた色セロハンや場所の特徴を生かして、さらに工夫して活動をする。 色の重なりを生かしてカラフルな虹のトンネルをつくらう。 	1	
	4 遊具をいろいろな場所から鑑賞し、自分や友達の表現のよさを味わう。 場所の特徴を生かして、色セロハンを工夫して貼ることで、教室がカラフルで楽しい場所になったな。 		

## 5 本 時 ( 1 / 2 )







### (1) 目 標

透明シートに色セロハンを貼る活動に興味をもち、体全体を使って活動に取り組むことを通して、適切にはさみやセロハンテープを使いながら、色セロハンの形や色、場所の特徴を組み合わせてできた表現の工夫に気付き、気付いたことを自分の表現に生かすことができる。

### (2) 本時の指導に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、まず活動中に自分や友達の表現を鑑賞している子どもを紹介し価値付けることで全体に鑑賞するように促す。そして、「友達はどこなところを工夫しているかな。形や色、場所の特徴を基に見るとよさそうだね。」と問い、形や色、場所の特徴を観点に鑑賞するよさに気付かせる。さらに、「自分に生かせるものはあるかな。」と問い、形や色、場所の特徴を基に表現の見通しをもたせる。

### (3) 実 際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 透明シートに色セロハン貼って遊ぶことについて話し合う。  色セロハンは光を通すときれいだな。色の重なりもあるんだ。	5	○ 透明シートに色セロハンを貼ることに意欲をもたせるために、教師が色セロハンを貼る活動を見せ、光を通して見える色や形の面白さを交流させ、本時のめあてへと焦点化する。
	2 学習のめあてについて話し合う。 透明シートに色セロハンをはって教室をカラフルで楽しい場所にしよう。	3	○ 色セロハンの特徴を生かすよさに気付かせるために、色セロハンを一枚貼っただけの表現と、形を工夫し色を数色重ねた表現を比較して見せ、気に入った理由を話し合わせ、形や色といった造形要素を見いださせる。
思いを表現する	3 透明シートに色セロハンを貼って遊ぶ。  <b>行為志向型</b> イメージ 色を数色並べて貼ってみよう。  <b>作品志向型</b> イメージ 青の色セロハンを貼って海みたいにして。	30	○ 場所の特徴を生かすよさに気付かせるために、窓側の広い場所に貼った透明シートやトンネル状の透明シート、天井から釣り下がっている透明シートなど、様々な場所を紹介し、それぞれの場所の特徴を生かして工夫して貼っている色セロハンを鑑賞させる。
	【つくりながら考える】 色が重なっている部分が面白いな。海の色セロハンみたいになったぞ。魚もつくってみよう。		○ 適切にはさみやセロハンテープを使用することができるように、はさみの安全な使い方やテープの使い方について掲示資料を活用する。
	【他者の表現を見ながら考える】 海の色セロハンが面白いな。ぼくも貼る場所を工夫してみよう。色セロハンの重なりがきれいな。海の色セロハンに生かさないかな。		○ 鑑賞したことを表現に生かす意欲をもたせるために、近くや遠くに行ったり、トンネルの中に入ったりしながら見ている子どもを紹介し価値付け、全体に鑑賞するよう促す。その際、「友達はどこなところを工夫しているかな。形や色、場所の特徴を見るとよさそうだね。」と問い、形や色、場所の特徴を基に鑑賞させる。さらに、「自分に生かせるものはあるかな。」と問い、自分の表現の見通しへとつなげさせる。
	関係付け 気付いた材料や場所の特徴や他者の工夫 関係付け  <b>新たなイメージ</b> 窓の向こうに見える空に浮かぶカラフルな虹みたいに表現しよう。  <b>新たなイメージ</b> カラフルな魚が泳ぐ海の色セロハンをつくろう。		○ 色セロハンや場所の特徴を生かすよさに気付かせ、自分の表現に生かせるようにするために、形や色、場所の特徴を工夫している子どもを価値付け、共有する場を設定する。
思いを味わう	4 本時の学習を振り返り、発見した形や色、イメージを紹介し合う。  色セロハンには色が重ねられたり、光を生かしたりして楽しい表現ができるな。場所の特徴を生かすとさらに楽しい表現ができそうだ。次も見つけた工夫を生かしたいな。	7	○ 活動が停滞している子どもが意欲的に活動に取り組めるように、「ここに何があったら面白いかな。これは何に見えるかな。」と発問する。 ○ 本時の学びを実感させるために、を振り返り、自分や友達が工夫したことを発表させる。その際、気付いたことを次時に生かそうとする姿を価値付ける。